

タイトル

三世代が継がない家

タイプ

持家一戸建

設計

(株) 井川建築設計事務所

施工

(有) 井川工務店

構造

在来木造

講評

設計者となった施主が、大工である父と共に手掛けたリフォーム。やはり大工であった祖父の技が込められた力強い軸組や、既存の建具や家具を残しながら、耐震性や温熱環境など環境性能の向上が図られている。地方の農家住宅が世代を超えて生き続ける好例である。



リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

【動機】	【施主感想】
祖父が大工として50年前に建築し、大工の父が約30年前に増築、設計士になった私が父とともに住まいを新しい世代に継がせるため。	この家を通し子供たちが貴重な時間を家族と共有しながら、先代への感謝と、将来への希望を持ち、思い出を築いてもらいたい。
【設計・施工の工夫点】	【住宅の価値向上】 農家住宅の改修でも実現可能であること。
地方に残る農家住宅は、日本の貴重なビンテージハウスである。	エネルギー消費性能の向上、バリアフリー化が可能なことを実現。
職人技術の梁柱のラーメン構造を残し、過去のグリットを活用しながら、自然環境を活かした現在の住まいに生まれ変わらせる工夫をした。	室内の快適性、地域の自然環境と景観なども含め、環境性能を高めた。住宅設備は、更新性を備え、躯体と分離できる計画とした。
また、貴重な資材(建具・家具)を積極的に活用し、過去へ敬意を込めた。	伝統工法の良さを見直しながら、耐震改修を行い、安全性を高めた。

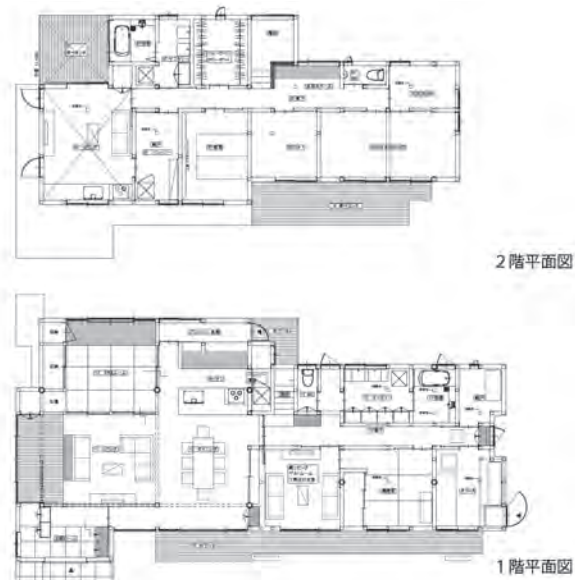
性能向上の特性	特に配慮した事項
省エネ性能、環境性能、耐震性能を高める。	伝統的な農家住宅の良さを活かしながら、各性能を高めること、永く愛せる普遍的なデザイン性を実現することで、全国の農家住宅が改修する模範住宅となるよう配慮した。

データ								
所在地	茨城県稲敷市		新築竣工年	1970 年	築後年数	48 年	施工期間	400 日間
該当工事床面積	235.97 m ² / 総工事床面積		235.97 m ²		該当部分工事費	4,000 万円 / 総工事費		4,000 万円
居住者構成	65 歳以上：2 人 / 15～64 歳：2 人 / 15 歳未満：3 人							

リフォーム前の平面図



リフォーム後の平面図



リフォーム部位： ■居室/ ■台所/ ■浴室/ ■便所/ ■洗面所/ ■廊下/ ■階段/ ■玄関/ □インテリア/ □マシン共用部分/ □その他